

【芦屋市】
校務 DX 計画

I. 市の現状と課題

令和5年度に実施された「校務 DX チェックリスト自己点検」において、顕著であった課題は以下のとおりとなります。

(1) クラウドサービスの活用について

特に、保護者との連絡等において、学校設置者としてさらに十分な整備が必要だと判明しました。

(2) FAXでのやり取り・押印について

FAXでのやり取り・押印については、現状も使用している実態が判明しました。

(3) 業務改善を前提としたペーパーレス化について

上記(1)とも関連し、クラウドサービスの一層の利活用によりペーパーレス化を進め、業務改善へつなげる必要があると判明しました。

2. 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における対策について

上記Iを踏まえ、具体的な対策として以下のような取組を進めてまいります。

(1) クラウドサービスの活用について

保護者からの問い合わせ対応や書類提出については、学校で使用している保護者連絡ツールの活用について研究を進めてまいります。

(2) FAXでのやり取り・押印の見直し

FAXでのやり取りについては、業者側の都合もあり使用しているという前提を踏まえつつ、各学校における利用用途を確認し、メールやクラウドシステムに移行できないか、研究を進めてまいります。

また、現行の押印が必要であるとされている書類について、各様式の規則や押印の必要性について研究してまいります。

(3) 業務改善を前提としたペーパーレス化の推進

校内の業務について、現行の業務を整理し、校務支援システムやクラウドサービスの利活用によりペーパーレス化ができないかを検証してまいります。

また、次期ネットワークシステムの更新に合わせて、不合理な手入力作業の有無を見直し、効率的な運用が行えるよう研究を進めてまいります。